



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月6日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 有仁
 問合せ先責任者(役職名) 経理財務本部長 (氏名) 多木 宏行 (TEL) 03-5822-6170
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (説明会の代替として、決算説明の動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,835	5.3	1,306	11.9	1,277	20.0	865	24.8
2020年3月期第2四半期	12,189	9.1	1,168	45.7	1,064	26.4	693	26.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第2四半期	109.04		—					
2020年3月期第2四半期	87.37		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	41,008	11,368	27.7
2020年3月期	39,130	10,569	27.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 11,368百万円 2020年3月期 10,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	2.2	1,950	△10.7	1,870	△9.3	1,260	△32.0	158.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	8,143,390株	2020年3月期	8,143,390株
2021年3月期2Q	206,307株	2020年3月期	206,276株
2021年3月期2Q	7,937,091株	2020年3月期2Q	7,937,194株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる状況及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、外出自粛、内需の下振れなどにより、失業率の上昇が見られたものの、一部に経済活動の再開や輸出に持ち直しの動きが見られました。世界経済においても同様に、米国や欧州を中心に持ち直しの動きが見られました。

また、電子材料業界においては、AI、IoT、5G等の情報通信技術の普及、感染症拡大の影響を受けテレワーク・動画利用の拡大、データセンターや通信システム向け先端半導体の好調が続きました。

このような状況のもと当社は、在宅勤務や時差出勤の推進、不要不急の外出や社内外への出張を極力見合わせると共に、オンライン会議等を積極的に活用し、事業活動を継続してまいりました。

しかしながら、世界規模で感染症拡大の第2波も警戒され、経済活動が再び停滞する恐れに加え、米中対立、原油相場、各国・地域における動向、為替相場の先行きなど、注視が必要なリスクが継続しております。

これら新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施による制約が伴うなか、当第2四半期累計期間における売上高は、従来からのお客様との関係強化、積極的な拡販への取り組みに加え、在宅需要拡大による半導体・電子材料需要の増加を背景に12,835,570千円(前年同期比+646,023千円、+5.3%)となりました。

さらに利益面につきましても、売上高の増加に加え、先端分野の高付加価値製品の増加、コスト上昇の抑制に努めたこと等により、営業利益は1,306,740千円(前年同期比+138,583千円、+11.9%)、経常利益は1,277,554千円(前年同期比+212,830千円、+20.0%)、四半期純利益は865,450千円(前年同期比+171,949千円、+24.8%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【感光性材料事業】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛・制限による半導体、ディスプレイ需要は一巡したものの、スマートフォン用途ならびに米国による中国への半導体製品の販売規制前の需要拡大などにより、先端半導体の生産増加が続き、感光材、ポリマー共に先端領域の製品売上が好調に推移しました。

この結果、同事業の売上高は7,336,550千円(前年同期比+158,758千円、+2.2%)、営業利益は881,853千円(前年同期比+44,708千円、+5.3%)となりました。

【化成品事業】

電子材料関連は、一時的なスマートフォンや自動車の販売台数減少の影響はあったものの、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に伴う在宅勤務の拡大などによる通信・データセンター向け需要の増加や5Gの本格始動等により売上は増加致しました。

香料材料関連は、当社の販売先である香料メーカーにおいても新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、トイレットリー向けの合成香料は堅調に推移しました。また、品質の安定化および安定供給に努めたことに加え、海外の香料メーカーを中心に販路を拡充致したことにより、売上は増加致しました。

ロジスティック関連は、新型コロナウイルス感染症の影響で、国内の化学品需要が鈍化し荷動き量が落ち込みが見られたものの、顧客満足度向上に努めた結果、タンク契約率は引き続き高水準で推移しました。

この結果、同事業の売上高は5,499,019千円(前年同期比+487,264千円、+9.7%)、営業利益は424,887千円(前年同期比+93,874千円、+28.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間における総資産は41,008,743千円となり、前事業年度末比1,878,225千円の増加となりました。

流動資産は16,011,972千円で、前事業年度末比508,866千円の増加となりました。これは現金及び預金130,738千円の増加、受取手形及び売掛金581,413千円の減少、原材料及び貯蔵品258,946千円の増加によるものであります。

固定資産は24,996,770千円で、前事業年度末比1,369,359千円の増加となりました。これは主に取得による増加2,399,469千円、減価償却による減少1,087,326千円によるものであります。

流動負債は14,526,220千円で、前事業年度末比2,564,210千円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金356,306千円の増加、設備関係未払金2,395,378千円の減少によるものであります。

固定負債は15,114,461千円で、前事業年度末比3,643,667千円の増加となりました。これは主に、長期借入金3,548,211千円の増加によるものであります。

純資産合計は11,368,060千円で、前事業年度末比798,769千円の増加となりました。これは主に四半期純利益865,450千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年8月7日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,582,663	3,713,402
受取手形及び売掛金	4,654,794	4,073,381
商品及び製品	5,498,753	5,575,583
仕掛品	164,902	337,081
原材料及び貯蔵品	1,355,922	1,614,869
その他	250,777	701,850
貸倒引当金	△4,707	△4,195
流動資産合計	15,503,106	16,011,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,637,405	7,409,699
機械装置及び運搬具(純額)	4,749,290	4,253,679
土地	4,835,945	4,835,945
建設仮勘定	4,336,542	6,300,242
その他(純額)	553,770	541,047
有形固定資産合計	22,112,955	23,340,615
無形固定資産		
その他	407,099	484,338
無形固定資産合計	407,099	484,338
投資その他の資産		
その他	1,107,355	1,171,817
投資その他の資産合計	1,107,355	1,171,817
固定資産合計	23,627,410	24,996,770
資産合計	39,130,517	41,008,743
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,000,593	3,356,899
短期借入金	5,750,000	4,660,000
1年内返済予定の長期借入金	3,121,933	3,520,148
設備関係未払金	3,448,149	1,052,771
未払法人税等	463,172	486,722
賞与引当金	553,878	670,703
その他の引当金	43,038	23,970
その他	709,666	755,005
流動負債合計	17,090,431	14,526,220
固定負債		
長期借入金	9,316,529	12,864,741
退職給付引当金	1,539,869	1,592,011
役員退職慰労引当金	68,085	73,445
その他	546,310	584,263
固定負債合計	11,470,794	15,114,461
負債合計	28,561,225	29,640,682

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	7,492,657	8,278,736
自己株式	△89,550	△89,748
株主資本合計	10,563,584	11,349,466
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,611	18,336
繰延ヘッジ損益	1,095	258
評価・換算差額等合計	5,706	18,594
純資産合計	10,569,291	11,368,060
負債純資産合計	39,130,517	41,008,743

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	12,189,546	12,835,570
売上原価	9,485,565	9,916,173
売上総利益	2,703,981	2,919,396
販売費及び一般管理費	1,535,823	1,612,655
営業利益	1,168,157	1,306,740
営業外収益		
受取利息	561	132
受取配当金	3,212	3,545
受取家賃	12,355	11,734
受取保険金	—	35,551
その他	18,212	18,731
営業外収益合計	34,342	69,694
営業外費用		
支払利息	60,810	61,790
為替差損	51,623	29,522
その他	25,342	7,567
営業外費用合計	137,776	98,880
経常利益	1,064,723	1,277,554
特別利益		
固定資産売却益	—	557
特別利益合計	—	557
特別損失		
固定資産除却損	5,507	16,512
投資有価証券評価損	28,055	—
特別損失合計	33,562	16,512
税引前四半期純利益	1,031,161	1,261,599
法人税、住民税及び事業税	351,707	446,439
法人税等調整額	△14,047	△50,289
法人税等合計	337,660	396,149
四半期純利益	693,501	865,450

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,031,161	1,261,599
減価償却費	1,063,194	1,087,326
引当金の増減額(△は減少)	148,059	154,748
受取利息及び受取配当金	△3,774	△3,677
支払利息	60,810	61,790
投資有価証券評価損益(△は益)	28,055	—
固定資産除却損	5,507	16,512
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△557
受取保険金	—	△35,551
売上債権の増減額(△は増加)	64,158	581,413
たな卸資産の増減額(△は増加)	△340,524	△507,956
仕入債務の増減額(△は減少)	△344,655	356,306
未払又は未収消費税等の増減額	284,453	△382,776
その他	120,420	41,560
小計	2,116,865	2,630,736
利息及び配当金の受取額	3,774	3,677
利息の支払額	△66,323	△71,060
保険金の受取額	—	67,176
法人税等の支払額	△408,748	△465,357
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,645,567	2,165,172
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,259,277	△4,644,899
有形固定資産の売却による収入	—	557
有形固定資産の除却による支出	△4,053	△9,692
無形固定資産の取得による支出	△29,785	△75,311
投資有価証券の取得による支出	△389	△394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,293,505	△4,729,740
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	250,000	△1,090,000
長期借入れによる収入	1,500,000	5,579,000
長期借入金の返済による支出	△2,143,200	△1,632,574
リース債務の返済による支出	△66,958	△65,537
自己株式の取得による支出	△52	△197
配当金の支払額	△39,504	△78,972
財務活動によるキャッシュ・フロー	△499,715	2,711,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30,226	△16,413
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,177,878	130,738
現金及び現金同等物の期首残高	5,000,383	3,170,663
現金及び現金同等物の期末残高	2,822,504	3,301,402

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,177,792	5,011,754	12,189,546	—	12,189,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	139,442	139,442	△139,442	—
計	7,177,792	5,151,197	12,328,989	△139,442	12,189,546
セグメント利益	837,145	331,012	1,168,157	—	1,168,157

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,336,550	5,499,019	12,835,570	—	12,835,570
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	141,260	141,260	△141,260	—
計	7,336,550	5,640,279	12,976,830	△141,260	12,835,570
セグメント利益	881,853	424,887	1,306,740	—	1,306,740

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。